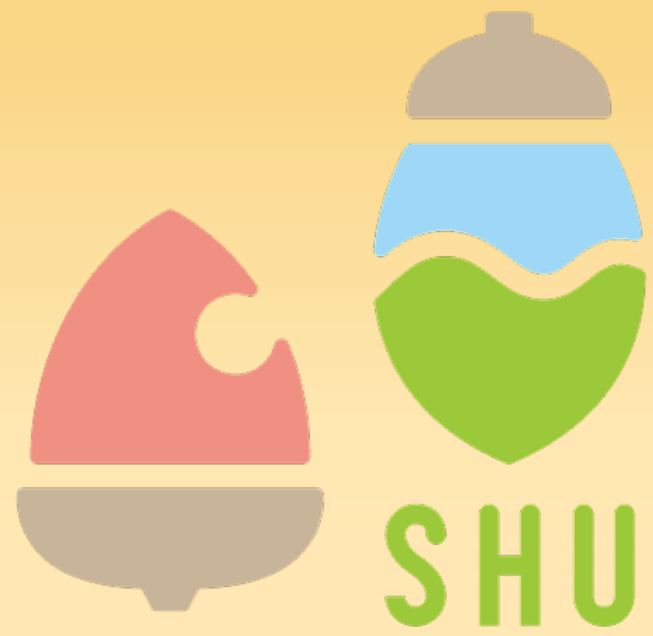




Non-Profit Organization
**Woods and Environment Network
Association**

2019年度 総会資料
Annual Report 2018



🌱🌿🍃+GS
グリーンセイバー
資格検定

2019年6月
特定非営利活動法人 樹木・環境ネットワーク協会

2018年度の取り組みについて

2018年度は台風の甚大な被害など、災害や気候変動による影響を受け、計画していた活動が中止になるなど、苦労した場面もありました。そのような中で、新体制となって2年目を迎えた私たちは、社会のニーズや会員・GSのみなさんのニーズに応じて新しい事業や取り組みを次のように展開していきました。

◇清水理事長の案内による初の小笠原観察会の実施

清水先生と行く東洋のガラパゴス～小笠原・父島、母島 自然観察旅行

◇沖縄地方での海と森と人をむすぶ活樹祭の始動

石垣島におけるひとり親を対象とした自然再生の取り組み

◇グリーンセイバーによる事業運営やGS新企画の開始

グリーンキャンパスなどの企画運営、GS企画の中の自主研修の実施

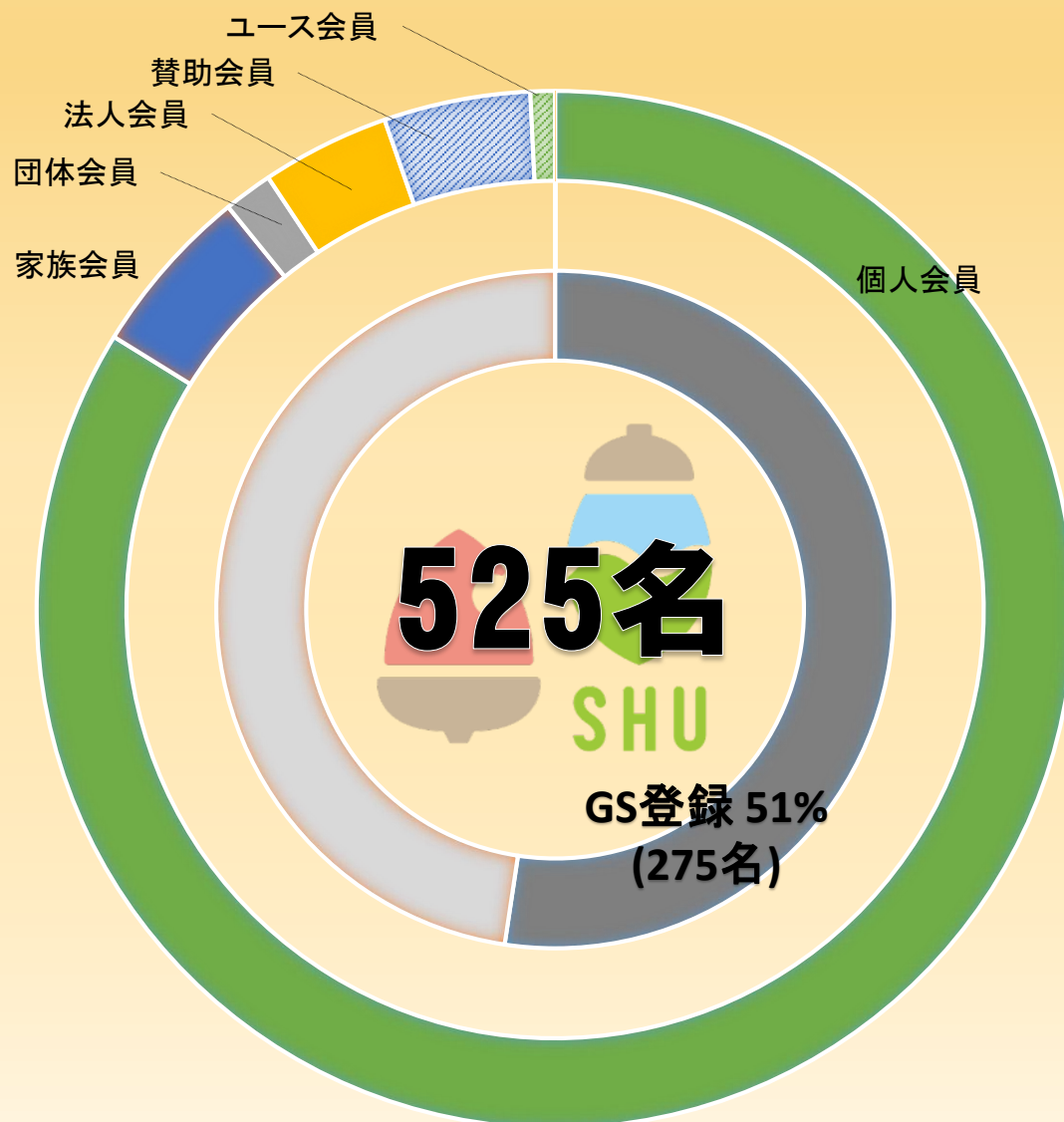
◇広報活動の展開

HPのリニューアル、企画展示



会員

2



18年度会員(19年3月末時点)

退会者の数よりも、入会者数が大きく上回り、
会員を増やすことができました。
昨年行った入会費無料キャンペーンの効果
によるものです。ひきつづき会員を継続して
いただけるよう、魅力のある活動を進めてま
いります。

18年度 退会者 12名(内 法人2 団体1)
入会者 81名(内 法人1 キャンペーン69名)

正会員 (計497名)

個人会員	440
家族会員	28
団体会員	8
法人会員	21

準会員 (計28名)

賛助会員	24
ユース会員	4

合計525名

グリーンセイバー事業

グリーンセイバーの活動の広がり

検定の受験者数は、前年度並みですが、今後広報ツールのリニューアルも手伝って、若い人々へのPR効果が期待できます。

また、グリーンセイバーのみなさんが、合格者への説明会、自主企画（GS企画）、自主研修会企画、環境コミュニケーション事業への参加など、各自の特色を生かした分野で活躍しました。

グリーンセイバー検定の見直し

GS見直しWGを月1回実施し、ベイシック・アドバンスの改訂版に相当する新科目ネイチャー・カルチャーへの移行についてアナウンスを開始しました。また、テキストの作成のための本格的な作業に入り、準備を進めました。



里山保全連続講座
…町田・三輪フィールドでの
里山林塾



GSおわりの会



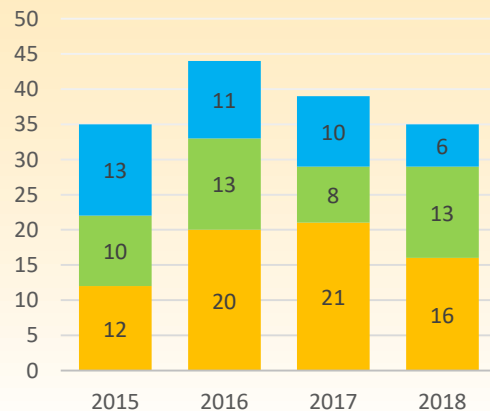
スタートアップ講座(町田・三輪)



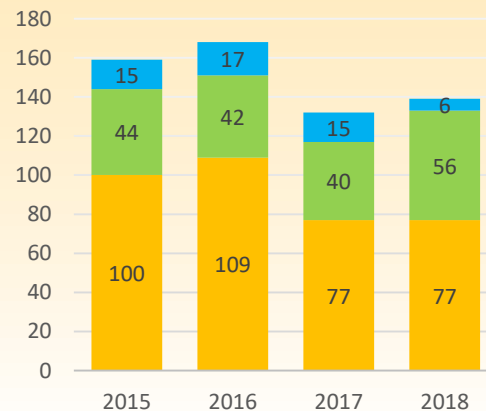
GS説明会(長池公園)

■ ベイシック ■ アドバンス ■ マスター

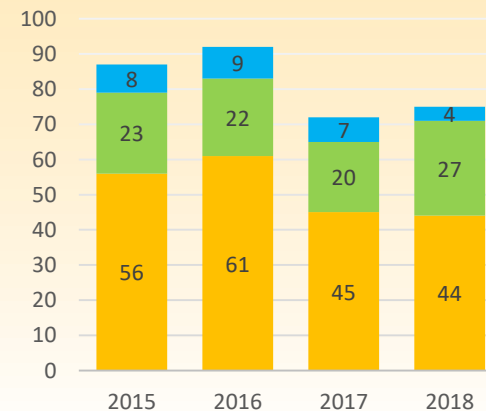
セミナー受講者



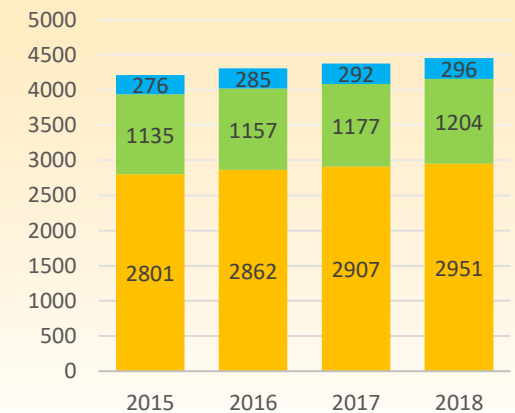
検定受験者



合格者



GS累計



グリーンセイバー事業

グリーンセイバーの主体的な活動(グリーンセイバー企画)

講座や観察会など、自然に親しみながら学びを深める3つのシリーズをグリーンセイバーが企画・運営してきました。

● これからはじめる自然観察

自然に興味はあって、もっと知るために一歩踏み出したいという方向けの気楽に参加できる観察会。

4/28 スケッチで自然観察 春編 他
計4回 参加者76名 グリーンセイバー21名

● 自然と親しむ講座

自然に関する知識やノウハウをもう少し深く学びたい、ステップアップしたい方向けの講座的プログラム。

6/3 分かりやすい樹木の見分け方・伝え方 他
計5回 参加者85名 グリーンセイバー13名

● 子どもワクワクプロジェクト

青少年を対象とした自然の不思議や魅力を五感で楽しむ自然体験プログラム。

5/13 ちょーヤバい外来種 他
計6回(内中止1回) 参加者124名 グリーンセイバー36名



グリーンセイバー事業

● これからはじめる自然観察

2018/7/1 実施
戦国ロマンと自然観察
～日本100名城八王子城を歩く～
@八王子城址

ブームとなっている山城で、歴史と自然の両方を楽しむことができる観察会を実施。多くの城ファンが参加し、自然を観察する楽しさを実感してもらうことができ、新たな層の開拓に成功しました。



● 自然と親しむ講座

2018/7/29 実施
アロマ講座
「香りで楽しむ自然観察秋の巻」
@神代植物公園

香りをテーマに主に樹木を観察する講座を実施。カツラの落ち葉の甘い香りを楽しんだり、キンモクセイのハーブティーの試飲や、精油をつかったハンドクリームづくりを行い、香りをより身近に感じてもらうことができました。

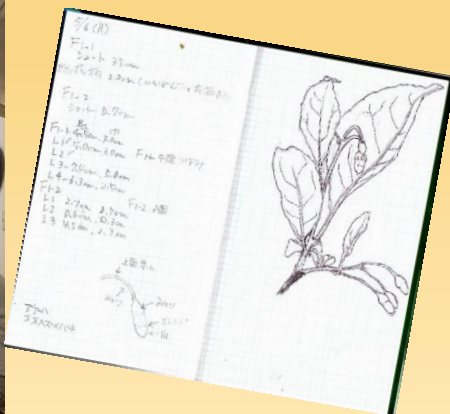


● 子どもワクワクプロジェクト

2019/3/31 実施
ススめ！子ども忍者in江戸城
@皇居東御苑

人と自然を題材に江戸時代に焦点をあてた企画を実施。子どもたちは忍者となり、江戸の人々の自然を取り入れた暮らしや江戸の野菜について学ぶことができました。GSが学校にチラシの配布を依頼し、多くのお申込みがありました。





● GSフェノロジー勉強会

春先の樹木の芽吹き、葉の展開から花が咲くところを、4ヶ月間じっくりと観察しました。観察は各自で週一回程度、葉や茎の長さや大きさの記録を取り、スケッチや写真でイメージを残します。その結果は月一回のオフ会で共有し、疑問点をディスカッションしました。その場で解決することもあります。継続検討になることも。毎回新しい発見が報告され、とても勉強になりました。今年も実施中です。



● ひとり一木活動

参加者一人一人が1種類の樹木を決めて、10分程度で解説をします。まだ経験の少ないGSメンバーにとっては、インタープリテーションを体験できる、またとないチャンス。その後は他の人の解説を聞き、資料ももらえて一石二鳥。GSの仲間だからこその楽しい話題も次々に湧き出て、楽しみながら体験と勉強ができる活動です。偶数月の第三日曜日で今年も実施中です。

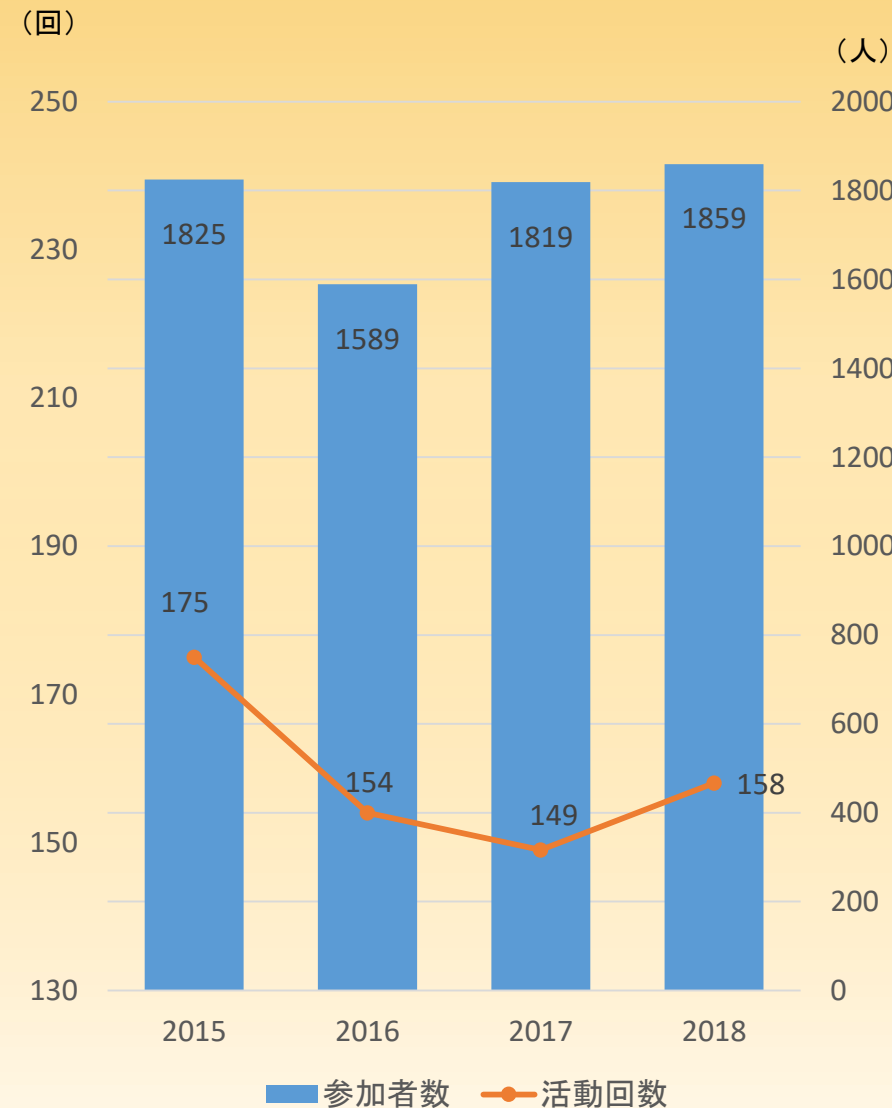
● GS登山

山登り初心者向けに、自然観察ハイキングを高尾山で年2回ほど実施しています。毎回少人数で和気あいあいと高尾山の自然を観察し、時には教え合いながらのゆっくり歩きが基本です。読図や山の歩き方など、登山の基礎知識の講義も要所要所で行われます。野外の安全につながる「山の常識」も少しずつ身につけて、季節ごとの自然との出会いを楽しみにしてくるリピーターも徐々に増えてきています。



フィールド事業

13箇所のフィールドにおいて、保全活動を推進してまいりました。
18年度活動の概要は以下の通りです。



(人)	【里山の再生・利用フィールド】	
2000	1 武蔵野の森から学ぼう	東京都武蔵村山市(東京都海道緑地保全地域 8.5ha)
1800	2 町田・三輪里山 - 三輪里山クラブ	東京都町田市、 約20.0 haのうち9.0ha実施中
1600	3 TAMAZO	東京都日野市・多摩動物公園内雑木林(4か所) 約10.0ha
1400	4 二宮フィールド - 二宮蜜柑倶楽部	神奈川県中郡の蜜柑畑
1200	5 交野森	大阪府交野市、交野山森林公園他 51.5ha
1000	6 御杖村	奈良県宇陀郡御杖村 29.8haの民有地
800	7 嵐山ふれあいの森	埼玉県比企郡嵐山町 8ha
600	8 千葉おぐらの森	千葉県千葉市 0.9ha
400	9 交野南星台	大阪府交野市南星台 0.7ha
200	【奥山の保全】	
0	10 ハヶ岳ワーキング	長野県茅野市(北ハヶ岳麦草峠周辺～雨池)
	【人工林の育成】	
	11 和歌山ワーキング	和歌山県紀伊田辺市 1.4haの人工林及び里山
	【都市の中の緑を考える活動】	
	12 上野動物園緑化ボランティアクラブ	東京都台東区 上野動物園内
	13 レッツ 久宝探検隊	大阪府八尾市、久宝寺緑地

フィールド事業

● 武蔵野の森から学ぼう ～海道緑地保全地域

東京都環境公社と協働で武蔵野大学の東京・グリーンキャンパス・プログラムのコーディネートをし、フィールドで学生の受け入れをしました。武蔵野のメンバーが計画から実施まで担当しました。当日は町田のメンバーも加わり多くのグリーンセイバーが主体的に関わりました。2日間のプログラムを2回、計47名の学生が参加し、里山について学び、下草刈りや伐木体験、自然観察を行いました。



● 嵐山ふれあいの森

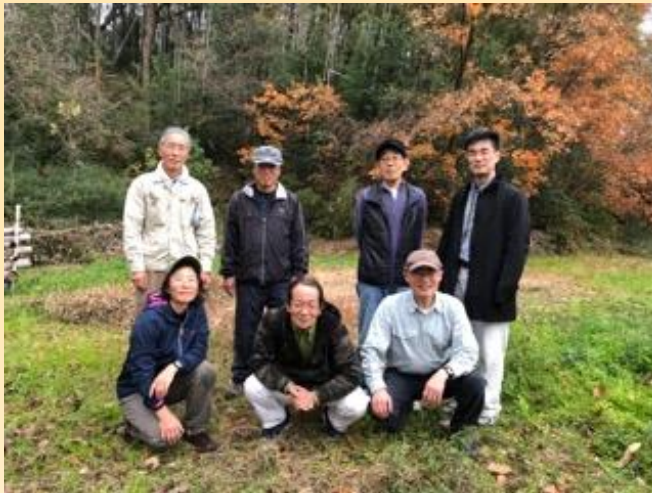
年度当初に会議を行い、計画的な年間計画を作成しました。2018年度は、隣接する嵐山花見台工業団地拡張工事で、活動地通路西側4.4ヘクタールの切り離しが予定されるため、該当地域の植物調査を行い、6月には、切り離し地域の植栽を移植する作業を行いました。年度前半は下草刈り、後半は樹木伐採等を中心に整備を行いました。今後とも嵐山町と周辺の企業と円滑な関係を継続し、整備を行って参ります。



フィールド事業

● 交野・南星台フィールド

里山の保全活動として竹の伐採、林床に等の除草、クヌギ・アベマキ・コナラの間伐を実施。継続して活動することで、ガマズミやムラサキシキブ等の林床低木が増えています。CSR活動として新生フィナンシャル株式会社も受け入れました。また近隣のケアハウス「きんもくせい」との交流が進んでおり、入居者が散歩等でもフィールドを訪れてくれるようになりました。



● 神代植物公園

2018年から始まったフィールドで、キンランなどの林床植物の保全を目指し、公園内の雑木林の管理作業を始めました。現状では公園主導という形で、年2回のイベントとしての活動です。2018年は、一般のボランティア参加者にグリーンセイバーが指導する形で、9月にヤブミョウガ刈りを、2月にササ刈り活動を行いました。



フィールド事業

● 清水先生と行く東洋のガラパゴス 小笠原・父島、母島 自然観察旅行

小笠原世界自然遺産科学委員会の委員を務められる当協会の清水理事長の企画により、念願の小笠原観察旅行が実現しました。

2018年11月にメルマガ、HPで会員に募集を行ったところ12名が参加し、総勢15名の観察旅行となりました。

父島、母島の地形、島の歴史、大洋島で顕著に見られる生物や生態系の特徴等大変貴重で有意義な観察旅行となりました。

参加者は、珍しい植生や鳥が現れるたびに足を止め、理事長の説明に聞き入っていました。

- 日程 3月10日(日)～15日(金) 5泊6日
- 行程
 - 1日目 竹芝ターミナル → 父島
 - 2日目 父島・大神山: 優占樹種の観察、
三日月山: 夕日、クジラ見学
 - 3日目 初寝浦遊歩道: 乾性低木林
 - 4日目 母島・乳房山登山: 母島雲霧帯植生の観察
 - 5日目 母島・桑ノ木山: アカギ進入実態調査、
グリーンアノール駆除対策現場観察
母島 → 父島 → 竹芝ターミナル
 - 6日目 竹芝ターミナル入港、解散



環境コミュニケーション事業

次のような多くの法人・団体に協力をいただき、各種活動を進めてきました。

【フィールドでの受入れ】11件(16回)

◇CSR活動等の社会貢献活動

町田・三輪里山フィールド

・グリー

TAMAZO

・ローソンみどりの募金

・凸版印刷

・新生銀行

・東京セキスイハイム

・MOTTAINAIキャンペーン

・マルイグループ

武蔵野の森から学ぼう

・グリーンキャンパスプログラム 3回

おぐらの森

・パラッツォ東京プラザ 4回

交野南星台

・新生銀行

◇授業・研修等の実施

TAMAZO

・桜川中学校

【環境イベントの協働実施等】13件(18回)

・東京ガスコミュニケーションズ

わたしの森プロジェクト 2か所 5回

・ローソンみどりの募金

活樹祭(石垣島、小菅村、仙台) 3回

・拓匠開発

野田みずきビオトープ管理 3回

・国際森林デーの実施

(実行委員会として参加)

・環境教育関東ミーティングの実施

(実行委員会として参加)

・森林と市民を結ぶ全国の集いの実施

(実行委員会として参加)

・KDDI 学びのフェス

・KDDI ICTを活用した環境教育の授業 2回

・里地里山フェスティバルへの出展

(東京港野鳥公園)

【森づくり関連】4件(4回、および通年)

・海の森公園ボランティア 指導育成(月2回+α)

・三菱電機 海の森での育樹活動 2回

・森ビル 海の森での育樹活動 2回

【研修や授業の実施】2件(8回、および2名)

・損保ジャパン日本興亜 CSOラーニング制度 2名

・日水コン 住民協働モニタリング支援 8回

【所有緑地の管理・活用】2件(7回)

・東京ガス 3工場での環境調査 年2回

・凸版印刷

【環境ツールの制作、企画展示】1件

・中央区環境情報センターでの企画展示

参加者: 約2521名 (累計・不特定多数を含む)

実施にあたり関わった指導者(累計): グリーンセイバー98名 / 会員7名 / 一般・外部講師60名



環境コミュニケーション事業

● 活樹祭～親子森林教室

国土緑化推進機構、ローソンと共催し「活樹祭～親子森林教室」を実施しました。

活樹祭は、森林や自然体験を通じて、森の大切さや木の利活用について学ぶ母子家庭を対象とした環境教育プログラムです。2年目を迎えた山梨県小管村での森林教室に加え、2018年度より沖縄県石垣市、宮城県仙台市での活動がスタートし、活動に広がりを見せています。

石垣島～里山づくり

沖縄県石垣市では温暖な気候が育む豊かな自然環境が残るものの、地球温暖化、森・畑の荒廃による環境破壊が進み課題になっています。活樹祭で現地の団体と協働し、石垣島に里山をモデルとした森の育成の取り組みをスタートさせました。※残念ながら、季節外れの台風により中止となり、植樹活動のみ実施しました。

小管村

水源林に囲まれている小管村。親子を招き、森林の整備を体験するとともに、森林が育む水について、体験を通じて学ぶ宿泊型のプログラム実施しました。

仙台

森のようちえん虹の森の協力をいただき、仙台での活樹祭を実施。森の整備と木の幹から葉っぱまですべてを利用した、まさに樹を活かした体験プログラムを実施しました。



【協力・協働団体紹介】

石垣島：石垣島エコツアーりんばな、沖縄県母子寡婦福祉連合会

小管村：NPO法人多摩源流こすげ、源流大学、小管村、
東京都ひとり親家庭福祉協議会

仙 台：森のようちえん虹の森、宮城県母子福祉連合会、
るぽの森オートキャンプ場

環境コミュニケーション事業

ICTを活用した環境教育

KDDI株式会社が行っているICT教育の一環で、小学校で行われている環境教育を協働で実施。タブレットを利用した自然観察を行うプログラムを行いました。



総合学習の支援

板橋区、流山市の小学校や中学校で、総合学習の授業を実施。学習では里山の体験や川の調査・体験学習を行いました。学校での環境学習も徐々に増えています。



他団体との共催イベントの実施

環境教育や森の活動に関わる催事に実行委員の一員として参画。さまざまな団体と協働し、分科会やイベントの企画運営を行いました。イベントの実施を通じて、団体や個人とのネットワークを拡大することができました。

【実施したイベント】

森林と市民を結ぶ全国の集い
環境教育関東ミーティング
国際森林デー



法人研究会

法人会員向けに開催している法人研究会を2回実施しました。今年は湊澤理事による「企業が社会的課題にどう取り組むか 論語と算盤」というテーマで講演を2回にわたって行いました。明治時代以降、企業が社会に果たしてきた役割、影響を振り返り、これからの社会のなかの企業の在り方、人と環境との向き合い方を法人会員の方々と共に考えました。

情報発信と共有(広報) 1

ホームページのリニューアル

昨年、リニューアルした協会のコーポレートデザインとイメージを統一し、団体概要やこれまでの実績はコンパクトにまとめ、参加者募集告知や直近の活動報告など、SNSでの発信も含め、最新情報が常にアップされているライブ感を重視しています。20年以上の歴史をもつ団体であることをふまえながら、私たちの“いま”を伝えるHPへ、リニューアルをはかりました。



スマートフォンに対応！

自動的に見やすいレイアウトになるレスポンシブルデザインを採用し、パソコン画面だけでなく、スマートフォンやタブレットでも見やすいホームページになりました。

【安全性】より安全性の高いHTTPS(常時SSL)化に対応！



情報発信と共有(広報)2

多角的な情報発信ツールの活用

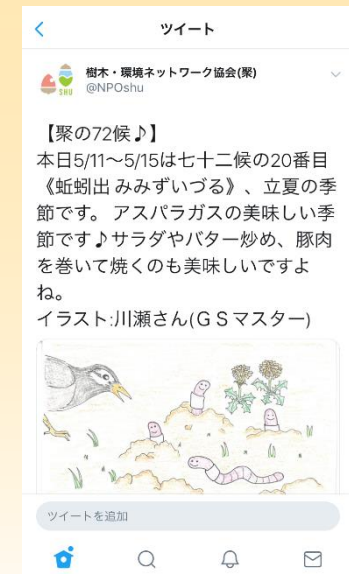
● 聚レター

自然や環境に関わる活動をしている人へのインタビューや特集記事、活動報告、告知等に加え、148号(2019年3月発行)では会員独自の発信の場として「グリーンセイバー的グリーンカーテンのススメ」を掲載。聚レターの続きをブログで発信するという、新しい試みも実現しました。



● SNSの活性化

引き続きフェイスブック、ツイッター、ブログ、メルマガ等を活用。インターン生にツイッターの更新を担当してもらい、自身が参加した活動の様子をリアルタイムで伝えたり、企画展示で使った七十二候のイラストを投稿することで、これまでより更新頻度がアップしました。



2018年12月19日から19年1月30日まで、中央区立環境情報センター（東京都中央区）で「暮らしの中の二十四節気七十二候展」を実施。イラストや写真の提供など、多くのグリーンセイバーが制作に参加し、当協会ならではの視点や切り口を活かした展示となりました。多くの来場者にご覧いただき、中央区の担当者にもたいへん好評でした。



今後も他の施設や団体への貸与、新たな企画制作の受注など、当協会のリソースとして活用したいと考え、HPでも紹介ページを設けてアピールしていきます。



2018年度 財務報告

※この成果報告書は吉田寛氏の「公会計における財務諸表利用者としての納税者」
『(国府台経済研究第13巻第1号)』に掲載された表示形式を利用しています。

収支・成果報告

発生費用の部: 活動のためにかった費用		非営利活動		2018年度合計
		2017年度	2018年度	
事業費	総務・管理	¥3,049,117	¥3,183,469	
	広報	¥2,639,981	¥3,255,515	
	グリーンセイバー事業	¥3,818,679	¥3,637,238	
	フィールド活動事業	¥6,538,000	¥6,761,893	
	環境コミュニケーション事業	¥11,203,820	¥12,861,872	
税金	法人税・住民税・事業税	¥150,000	¥150,000	
棚卸高	期首商品棚卸高			
	期末商品棚卸高			
発生費用合計		¥27,399,597	¥29,849,987	¥29,849,987

費用負担の部: その費用は以下のように負担しました。		非営利活動		2018年度合計
		2017年度	2018年度	
受取会費	会費負担分	¥4,680,000	¥4,167,000	
受取寄付金		¥1,262,421	¥1,350,827	
事業費収入	グリーンセイバー事業	¥2,043,528	¥1,893,826	
	フィールド活動事業	¥6,668,924	¥7,731,051	
	環境コミュニケーション事業	¥12,786,114	¥14,973,426	
事業外収入	受取利息・雑収入	¥24,036	¥36	
費用負担額合計		¥27,465,023	¥30,116,166	¥30,166,166
当期正味財産増減額		¥65,426	¥266,179	¥266,179

1) 助成金取得実績: 国土緑化推進機構(3,711,004)

2) 寄付金内訳: 朝日ライフアセットマネジメント(550,000)、KDDIキボウノカケハシ(111,298) 他

2018年度 財務報告

貸借対照表

(単位 :円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産		1 流動負債	
現金	160,840	未払金	1,596,741
普通預金	3,452,756	前受金	2,369,000
郵便振替口座	1,102,532	預り金	69,464
未収金	5,955,499	流動負債合計	4,035,205
前払金	10,080		
前払費用	127,872		
流動資産合計	10,809,579		
		2 固定負債	0
2 固定資産			
有形固定資産		負債合計	4,035,205
車両・運搬具	453,600		
減価償却累計額	△453,599		
有形固定資産合計	1		
無形固定資産		III 正味財産の部	
商標権	74,000	前期繰越正味財産	6,937,396
敷金	355,200	当期正味財産増減額	266,179
無形固定資産合計	429,200	正味財産合計	7,203,575
固定資産計	429,201		
資産の部合計	11,238,780	負債・正味財産の部合計	11,238,780

2018年度 財務報告

監査報告書

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人 樹木・環境ネットワーク協会の
2019年度決算について監査の結果、事業報告は事業の内
容を適切に反映していると認めます。

2019年5月16日

特定非営利活動法人

樹木・環境ネットワーク協会

監事 三尾隆志 

三 尾 隆 志

監事 吉田寛 

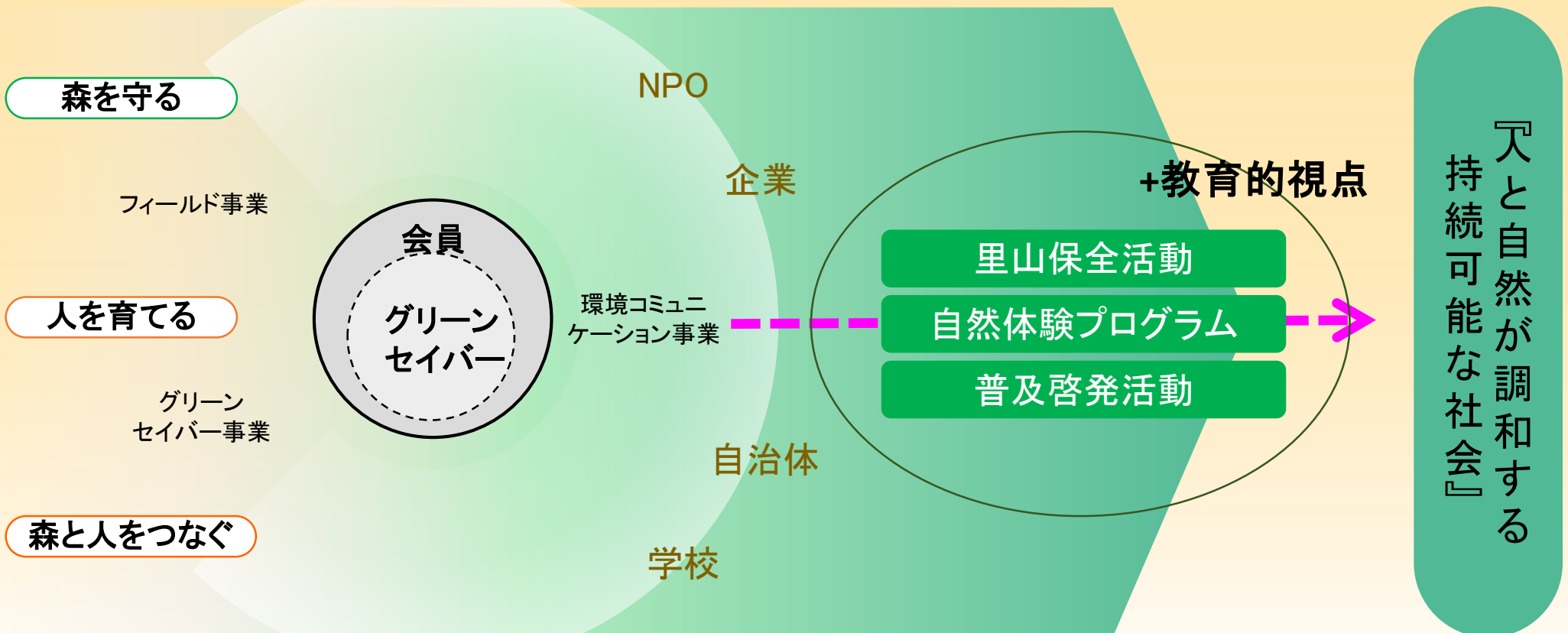
吉 田 寛

2019年度 活動計画 基本方針

教育的視点の強化

樹木・環境ネットワーク協会では、これまでも自然体験や環境学習など、次世代を担う子どもたちの環境教育に取り組んできました。振り返ってみれば10年前、20年前の小学生はすでに成人し、環境保護の現場で活躍している人も少なくありません。こうした事業の意義を理解し行動し引き継いでいくのは人の力なので、人を育てることの重要性を実感しています。

森づくりには100年、200年という長期的視点が必要で、すぐに結果が出ないため無力感に苛まれることもあります。教育や人材育成は、その成果を見守りながら100年後、200年後につなぐことができるという点でも、大きな意味を持つ事業です。2019年度は「教育的視点」をテーマに、すべての活動において教育的視点を強化し、教育的活動としての質をあげていくことで、大きな目標に一步ずつ近づいていきたいと思っています。



2019年度 活動計画

グリーンセイバー事業

1. グリーンセイバー検定事業

① 現行検定事業

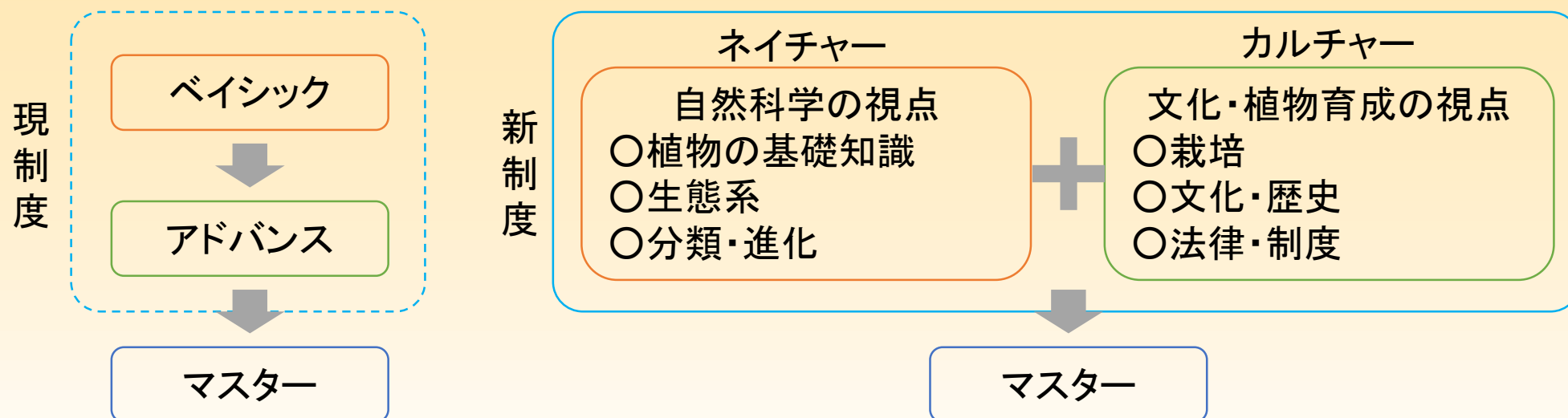
現テキストにおける最後のベシック、アドバンスの検定を実施します。合格者向けにスタートアップ講座を開き、グリーンセイバーの仲間を増やしていきます。2019年度は関西でもスタートアップを実施します。マスター検定は次年度以降もこれまで同様に実施します。

② グリーンセイバーナビ

人と自然の共生のあり方に興味を持ってもらう入り口としての「グリーンセイバーナビ」のテキスト作成を進めます。既存の試行版をもとに、内容と装丁をブラッシュアップした完成版を作成します。

③ 新グリーンセイバー資格検定(ネイチャー&カルチャー)

- ・新グリーンセイバーの準備を検討ワーキンググループにおいて、2020年開始に向けて引き続き進めます。
- ・テキストのみならず、セミナーや作問などを含めた検定の運営を含めた枠組みについても、具体的な検討を進めていきます。
- ・新グリーンセイバーの作りこみ ⇒ 広報活動開始 ⇒ 2020年度開始に向けて準備



2019年度 活動計画

グリーンセイバー事業

2. グリーンセイバーによる活動の展開

① フィールドとの連結を強化、事業への参画を促進

里山保全活動のフィールドと、GS自主企画活動を人材や場所の面での協働による活動や事業を引き続き強化していきます。関連して、グリーンセイバーによる各事業への企画運営への参加を促進していきます。

② GS企画イベントの展開

2012年度から始まったグリーンセイバーによるGS企画は2019年度も多くの企画を展開予定です。新グリーンセイバーを引きこみながら、企画の運営人員の発掘も進めていきます

③ グリーンセイバー内部勉強会・研究会の展開

グリーンセイバーのスキルアップを図る自主的な勉強の場づくりを継続します。里山林塾、山登り講座、フェノロジー講座、一人一木研修などなど。学んだことの実践の場、グリーンセイバーの交流の場にもなることが期待できます。

3. インタープリテーション研修

グリーンセイバー資格検定は、知識を得ることはできますが、教育的活動に必要な「伝える」技術を習得することを目的としたものではありません。

グリーンセイバーに求められる活動の中でも環境教育は大きな役割を果たしてきています。グリーンセイバーが行う活動の質を高めるために、環境教育の中でも広く社会に浸透しつつあるインタープリテーション研修を行います。



2019年度 活動計画

フィールド事業

● 地域・社会に開かれたフィールド

これまでのフィールド活動では、会員に限らず一般の方も参加できるボランティア活動として行ってきました。2019年度はさらに社会に広がる活動を展開し、また、各活動において、体験を重視した教育的活動をおこなってまいります。

「TAMAZO」

多摩動物公園との協働イベントの実施

… ライオンの森、七生公園での来園者を対象とした観察会や自然体験提供

「武蔵野の森から学ぼう」

東京都環境公社との協働イベント

… 里山へGO！グリーンキャンパスプログラムの実施

「町田・三輪里山」

近隣の小学校の里山での体験授業の提供

「レッツ久宝探検隊」

久宝寺緑地公園に来園する一般の方が参加する自然体験の実施



● 保全活動のスキルアップ

チェーンソーや刈払い機の安全講習等の実施により森づくり活動の技術的なスキルアップの機会をつくれます。

2019年度 活動計画

環境コミュニケーション事業

これまでも、多くの企業や団体の方々の協力や協働した活動を行ってきました。2018年度は、石垣島での活樹祭をはじめ、他団体と協働・コラボレーションすることにより、活動の幅を広げることができました。2019年度は、ネットワークを拡大し、より多くの団体とコラボレーションし事業を推進するとともに、各活動においても教育的要素を深め、活動の付加価値を高めてまいります。

● ネットワークとコラボレーションの拡大

2019年度では、石垣島での活動の実績をベースに、沖縄本島や海辺の活動団体との連携を広め、協働活動を計画・実施します。

● 学校や学習施設への環境学習支援

小中学校や専門学校等学校施設、行政の運営する施設などにおいて、当会のノウハウと人材を活かした教材や環境学習の場を提供することで、広く環境学習の支援を行っていきます。



2019年度 活動計画

会員獲得、制度の改定、広報 等

● 入会費無料キャンペーン

18年度に行なったキャンペーンでは、一定の成果を得ることができました。今年もキャンペーンを継続し、当会の活動の理解を広め、会員の増加に努めます。

フィールド活動への一般参加者や観察会やイベントにおいて、会員・グリーンセイバーの皆さんが誘いやすくなっていますので、ぜひご協力のほどよろしくお願いします。

● 法人研究会

ここ数年は、室内で法人研究会を続けて開催してきましたが、今年度は法人会員のみなさん対象に、私たちのフィールドでの開催を検討しています。フィールドで会社の垣根を超えた作業体験を通して、会員間の交流や情報交換ができるとよいと考えています。

● 時代の変化に合わせた広報

インターネットやスマートフォンの普及に伴い、効果的な広報も大きく変わってきています。そこへ、郵送料の値上げ、印刷コストの値上げ、消費税増税など、さまざまなコストアップも協会の運営に大きな影響を与えています。

2019年度は広報の手段を見なおす等、時代の変化に合わせた効果的な広報を検討していきます。

2019年度 予算計画

◆収入の部

項目	2018年度実績	2019年度予算	主な活動
会費	¥4,167,000	¥4,419,000	
正会員	4,097,000	4,349,000	個人、家族、法人、団体
準会員	70,000	70,000	賛助、学生
寄付	¥1,350,827	¥1,100,000	個人、キボウノカケハシ、朝日ライフアセットマネジメント 等
事業	¥24,598,304	¥24,715,000	
内訳)グリーンセイバー事業	1,893,827	1,570,000	検定、セミナー、過去問・テキスト販売、GS企画
内訳)フィールド事業	7,731,051	7,548,000	フィールド活動委託、法人・団体等の活動受け入れ
内訳)環境コミュニケーション事業	14,973,426	15,597,000	海の森、活樹祭、他団体との協働活動やコーディネート
その他収益	¥36	¥0	
A) 収入の部 合計	¥30,116,166	¥30,234,000	

◆支出の部

項目	2018年度実績	2019年度予算	主な活動
総務・管理	¥3,183,469	¥3,152,000	会員管理、日常業務 等
事業支出	¥23,261,003	¥23,120,000	※以下3事業の合計
内訳)グリーンセイバー事業	3,637,238	3,610,000	検定、セミナー、見直し検討 等
内訳)フィールド事業	6,761,893	6,510,000	フィールド活動推進、法人・団体との活動経費
内訳)環境コミュニケーション事業	12,861,872	13,000,000	海の森委託、活樹祭の運営費、その他法人・団体との活動経費
広報	¥3,255,515	¥3,250,000	会報誌・ホームページの作成と運営
法人税・住民税・事業税	¥150,000	¥150,000	法人税、住民税、事業税
B) 支出の部 合計	¥29,849,987	¥29,672,000	

上記に含まれる固定費の内訳	¥16,815,658	¥15,948,000	
人件費・通勤費・福利	10,716,612	10,800,000	事務局、アルバイト人件費、および通勤費
地代家賃	1,918,080	1,920,000	東京事務局
光熱費・リース代 他	2,489,836	1,512,000	通信運搬、水道光熱費、リース代、保険代
社会保険、労災保険	960,526	984,000	
租税公課	730,604	732,000	消費税納付 等

前期正味財産	¥6,937,396	¥7,203,575	
当期正味財産増減額 (A-B)	¥266,179	¥562,000	
正味財産合計	¥7,203,575	¥7,765,575	

団体概要

【組織】※2019年3月末現在

団体正式名称 特定非営利活動法人樹木・環境ネットワーク協会

設立 1995年9月19日

ホームページ <https://www.shu.or.jp/>

○東京事務局

[住所] 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-6

日本分譲住宅会館ビル8階南

[Tel] 03-5244-5447 [Fax] 03-5244-5448

[Mail] info@shu.or.jp

○大阪事務局

[住所] 〒576-0033 大阪府交野市私市5丁目17番11号

[Tel] 072-893-1716 [Fax] 072-892-3247

[Mail] kansai.syu1@nifty.com

[HP] <http://kansaisyu.o.oo7.jp/index.html>

【活動内容】

- ①自然生態系との共生に関する環境づくり及び調査研究
- ②自然生態系との共生に関する人材の育成及び国内外のネットワーク構築
- ③その他目的を達成するために必要な事業

【事務局スタッフ】

理事長 清水 善和

副理事長 川端 自人

専務理事 中西 由美子

理事・事務局長 後藤 洋一

スタッフ(東京) 種池 真依子

スタッフ(東京) 石崎 庸子

スタッフ(東京) 加藤 武

スタッフ(東京) 陣野 益実

スタッフ(東京) 今田 海斗

スタッフ(東京) 八代 奏恵

スタッフ(大阪) 山本 睦子



役員・理事

※2019年4月時点

【役員最高顧問】	池田 武邦	
【理事/最高顧問】	山本 光二	樹医
【理事長】	清水 善和	駒澤大学総合教育研究部教授
【副理事長】	川端 自人	グリーンセイバー・マスター
【専務理事】	中西 由美子	グリーンセイバー・マスター
【理事】	飯塚 勇	株式会社丸原ホールディングス代表取締役
【理事】	奥 直樹	トヨタ自動車株式会社 環境部 コミュニケーション室 ブランド企画グループ長
【理事】	伊藤 晴康	有限会社ゼフィルス 代表取締役
【理事】	大垣 文義	グリーンセイバー・マスター 前専務理事
【理事】	大川 英登	御杖村フィールドリーダー
【理事】	岡本 俊彦	グリーンセイバー・マスター
【理事】	片山 雅男	夙川学院短期大学児童教育学科教授
【理事】	久保 重明	三輪里山フィールドリーダー
【理事】	小林 勝彦	東京ガス株式会社 サステナビリティ推進部長
【理事】	後藤 洋一	事務局長
【理事】	C.W.ニコル	C.W.ニコル・アフアの森財団 理事長
【理事】	澁澤 寿一	前理事長
【理事】	塚本 秀貴	グリーンセイバー・マスター
【理事】	渡辺 順彦	株式会社アテナ 取締役会長
【監査】	三尾 隆志	公認会計士
【監査】	吉田 寛	公認会計士 公会計研究所 代表

法人会員

28

- 1 株式会社アテナ
- 2 株式会社エスパシオ
- 3 ENEOSグローブ株式会社
- 4 NECネットエスアイ株式会社
- 5 株式会社新生銀行
- 6 株式会社昭栄
- 7 損保ジャパン日本興亜株式会社
- 8 株式会社高橋総本店
- 9 東京ガス株式会社
- 10 東京ガス都市開発株式会社
- 11 株式会社東京吉兆
- 12 東京シティライオンズクラブ
- 13 凸版印刷株式会社
- 14 トヨタ自動車株式会社
- 15 株式会社日本設計
- 16 株式会社パラッツォ東京プラザ
- 17 株式会社美交工業
- 18 株式会社ひむか造園土木
- 19 三井住友海上火災保険株式会社
- 20 株式会社ユーエム工業
- 21 株式会社ローソン